



令和7年5月号
駒ヶ根警察署
83-0110
駒ヶ根駅前交番
83-7766
(担当: 滝川)

山菜採りの遭難防止

例年4月から6月にかけて山菜採りで入山し、道迷い、急斜面での滑落により、死傷する遭難が多発しています。

山菜を探すことに夢中になるあまり、迷ったり、知らず知らずに危険な場所に立ち入ってしまうことがあるため、多くのリスクをもたらします。

万が一に備えて、携帯電話、雨具、ヘッドライト、非常食・飲料を必ず携帯してください。

山菜採りで入山する際も、登山と同様に「遭難するかもしれない」という危機感を持ち、必ず家族や友人などに入山場所と予定を知らせましょう。

また、日頃から体調管理を行い、体調が悪い場合は入山を控えましょう。

家族や身近な人に山菜採りを趣味とする人がいる場合は、周囲から積極的に注意喚起をして、遭難を防止しましょう。

1 入山場所と予定を家族等に伝えましょう

遭難した際に迅速に捜索ができるように、家族や身近な人に日程や入山場所を伝えてから山に入りましょう。

2 携帯電話を持って行きましょう

携帯電話は、万が一の通信手段になるので、モバイルバッテリーと合わせて携帯するようにしましょう。

3 急斜面での滑落に注意しましょう

登山道では、滑りやすい箇所や表面が脆くなっている箇所があるため、危険な場所への入山は避けましょう。

4 単独での入山は避けましょう。

単独での入山は、万が一のことがあった際に救助要請ができない場合もあるため、できるだけ複数人で入山しましょう。

5 熊など野生動物に注意しましょう。

山中では野生動物に遭遇することもあるため、鈴やラジオなどの音の出るものを携帯しましょう。

